



International Day for the Total Elimination of Nuclear Weapons

26 September

報道資料

総会は、2013年9月26日にニューヨークの国連本部で総会史上初となる核軍縮に関するハイレベル会合が開催されたことを受けて、総会決議 68/32 を採択しました。

この決議は、「軍縮会議において、核兵器の保有、開発、製造、取得、実験、貯蔵、移転、使用もしくは使用の威嚇を禁止し、核兵器の廃棄を規定する包括的核兵器条約の交渉を早期に開始すること」を要請しています。



さらに、総会は9月26日を「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」とすることを宣言しました。これは、社会の認識を高め、核軍縮問題への関与を深化させようとする総会の一連の取り組みの中でも、最も新しいものです。2010年には、8月29日を「核実験に反対する国際デー」と宣言しています(決議 64/35)。

国連は2014年9月26日、「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」を記念する初めての式典を開催します。決議に従い、加盟国、国連システムのほか、非政府組織(NGO)、学术界、国会議員、マスメディア、個人を含む市民社会には、核兵器が人類に及ぼす脅威と、核兵器の全面的廃絶の必要性に関する社会の認識を高め、教育を充実させることにより、この国際デーを記念し、普及させることが求められます。

この国際デーを記念して、国連はニューヨークとジュネーブで開催される様々なイベントを支援します。そして、世界各地の国連広報センターに対し、核兵器の全面的廃絶のための国際デーへの関心を高めるよう呼びかけています。